

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年2月17日

事業所名 POCCOスタジオしょうわちゅうおう

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			・パソコンブースを15席用意している。 ・長机のスペースもあるので、全体活動にも対応できる	・学習スペースと遊びのスペースの区切りが難しいときがある。パーティションなどで区切れるとさらに良い。
	2	職員の配置数は適切である	6			・翌月の配置人数をしっかりと確認している。	・引き続き、複数人で配置人数を確認し、適切な配置人数を守って支援を継続する
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1		・段差がないので、車いす等でも入室できる。	・車いすの利用者が今後出てくることも予想されるので、移動スペース等が十分か、適宜検討していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			・月1のミーティングで情報を共有している。 ・朝礼で毎日、前日の様子を振り返っている。 ・毎朝の朝礼や月1ミーティング等で振り返りを行い、問題点などを協議・改善している	・事業所運営目標や個人目標なども振り返りながら、よりよい支援や療育につなげていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			・毎年1月ごろに実施している	・アンケートの結果を丁寧に考察し、今後の支援につなげていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			・ホームページで公開している。 https://www.pocco.jp/	・今後も継続して行う
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6			・機会のある時に、評議員の方などが視察に来られる	・引き続き、第三者によるアドバイスなども参考に、改善につなげていく
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			・月1回の山内先生の研修に、正職員のみならずパート職員も参加している。 ・外部研修の案内・受講も動いている。 ・年間の研修計画を策定し、実行している。	・今後も研修に積極的に参加し、職員の資質・能力の向上に努める
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			・モニタリング会議など定期に開催し、参加している	・引き続き、会議での議題やスタッフの会議で話題にあがる事項などを個別支援計画に盛り込み、よりよい支援につなげていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			・SM社会生活能力検査を定期的実施し、山内先生の助言を受けて、それを療育に活かしている。	・引き続き、SM社会生活能力検査や知能検査を個別支援計画等のツールに活かしていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			・職員間で相談しながら、活動プログラムや学習目標を立案している。	・今後も職員間で話し合いながら、『楽しくて力のつく』活動を立案していく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			・全体活動も担当者を決め、内容も偏りのないよう意見交換したり他の職員の助言を受けたりして決めている	・今後も職員間で活動の話し合いや立案を行う中で、様々な体験ができるよう、工夫していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			・平日は毎日、職員間で検討しながら、プログラム学習の目標設定を行うことができる。 ・休日・長期休暇は体験活動や戸外活動を盛り込んでいる。ねらいをきちんと定めて取り組んでいる	・左記の内容を引き続き行っていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			・学習は個別支援が中心。学習後にルールのある遊びを取り入れ、他者と関わる機会を設けている。	・SSTへのニーズも高いので、集団活動でも取り入れたり、個別の活動でも内容を充実させていく。 ・VRを用いた支援とカードゲーム等でのコミュニケーションを組み合わせ、ヴァーチャルとリアルの両面から支援をしていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			・朝礼時に1人ひとりに合わせた学習プログラムを設定している。 ・長期休暇の活動は、活動計画書を職員に配布して内容の確認や共有、助言を行っている。	・引き続き、朝礼などで丁寧にやっていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			・毎朝の朝礼で振り返りを行い、共有している。 ・朝礼時に前日の子どもの様子を職員間で振り返っている。 ・ミーティングや会議ではない時間絵も、職員間で支援の情報や課題の共有ができています。	・引き続き、共有体制をしっかりと確立していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			・HUGのケア記録に詳細を記録している	・ケア記録なども定期的に分析し、学習支援や個別支援に活かしていく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			・モニタリングの議事録を全職員で目を通し、計画や支援の方向性を話し合っている。 ・HUGのシステムで期限管理を行い、漏れなく見直しや更新ができています。	・モニタリング以外でも保護者と連絡を密に取り合い、よりよい支援につなげていく。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6			・活動を組み合わせることで、多角的・総合的に支援を展開している	・今後もスタッフの得意を活かしながら、より多面的に支援を展開し、子どもたちの成長に寄与していく	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			・責任者や副責任者が参加し、情報共有を図っている	・今後も継続して行う。 ・責任者・副責任者以外の職員も同席し、スキルアップにつなげていく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			・送迎時にその日の学校での様子をうかがうなど、情報共有に努めている。 ・下校時刻の変更連絡などがあるときがある。	・学校の先生方とも連絡や連携を密に取り、よりよい支援につなげていく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6			・該当者なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6			・相談支援事業所などが仲介してくださり、情報共有を行っている	・引き続き、相談支援事業所や保護者との間の情報共有を丁寧に行っていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6				・サービス移行の際などに、しっかりと引継ぎを行えるように準備を調える
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			・山内先生の個別相談会にスタッフが必要に応じて参加するよう心掛けている	・山内先生の個別相談会にスタッフが必要に応じて参加する。また、専門機関等で受けた検査結果なども家庭と共有し、学校・家庭・放デイで同じ方向を向いて支援に当たられるように努める
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	4			・子どもの学習計画や目標を個別に立てる点や新型コロナウイルス等の感染症の危惧もあり、日常的に行うのは難しいが、職員間でアイデアを出し合い、検討していきたい。 ・地域のボランティア団体が企画しているイベントへの参加を予定している
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6			・昭和町・中央市の基幹相談支援センターが中心となって開催している事業所部会に参加している	・引き続き、積極的に参加していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			・送迎時に保護者と話し、情報共有している ・ケア記録をWebで公開し、情報を共有している。	・学習の現状と成果・課題を丁寧に説明し、保護者との間で共通の意識や方向性をもって学習支援に当たられるよう努めていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6				・山内先生の個別相談会へ保護者をお誘いするなど、継続していく
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			・契約時に丁寧に説明している	・各種会議や送迎時などにも丁寧に説明していく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6				・学習や進路などに関する相談や質問に適切に対応できる力をさらに高めていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3			・長期休暇などに保護者も参加できる活動やイベントを検討、企画していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			・連絡体制などについては契約時に説明している ・苦情に至る前に、保護者からご意見やご質問、気になる点はすぐにスタッフに相談できるような雰囲気づくりに努めている	・左記のような取り組みを引き続き行っていく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			・公式LINEやInstagramを活用し、情報を発信している。 ・SNSを用いて活動内容や行事予定なども発信している	・より積極的な情報発信を行い、開かれた事業所を目指していく
	35	個人情報に十分注意している	6			・個人情報整理されているファイルは、鍵付きのロッカーで厳重に管理している	・個人情報整理されているファイルは、鍵付きのロッカーで厳重に管理している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			・利用者とのやりとり、コミュニケーションでは、言葉だけでなく図や絵を用いて、わかりやすく説明している。	・保護者との情報共有や意思疎通では、HUGのケア記録と送迎時でのお話など、デジタルと対面でのやり取りを組み合わせることで効果的に行っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6			・マンドリン演奏会などで、地域の方を招いてイベントを行った。 ・地域の農家の方と芋ほり体験を行った。 ・サッカー教室にも参加した	・今後も地域のイベントへの参加や、地域の方を招いての活動などを積極的に企画していく

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			・避難経路などは契約時に説明させていただいている。また、非常口や施設内の避難経路などを掲示している	・保護者にも避難訓練の様子や避難経路などを周知できるよう、SNSなども効果的に用いて発信していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			・長期休暇に活動の一環として避難訓練を行っている	・曜日が違うと利用者が異なるので、訓練も複数回実施してもよいと感じている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			・年に2回を目安に、山内先生の研修で扱っている	・虐待防止に向けて、山内先生の研修を基本に、事業所内の月1ミーティングなどでも取り上げていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			・保護者の同意を得て、必要に応じて個別支援計画にも明記している。	・個別支援計画への明記を引き続き行っていく。 ・利用者一人ひとりの個性・特性を理解し、身体拘束に至る前に支援の手を差し伸べられるような声掛けや環境を調えることも、行っていく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			・職員全員で情報の共有、周知を徹底し、除去した内容のメニューを考えている	・全職員にアレルギー情報を周知し、適切に対応していく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			・毎日の朝礼や月1のミーティングで振り返り、対応を話し合っている。 ・事例をデータにまとめて蓄積し、支援に活かしている	・事例をまとめていくだけでなく、朝礼などでも丁寧に振り返り、安全・安心できる環境を整えていく